

Vol. 17

2018年2月号

こころと文化

PSYCHE & CULTURE

No. 1

目次

巻頭言	すべての人にこころの健康を	青木 勉	4
特集	海外在留邦人の生活ストレス要因 ～ストレスチェック海外版作成に向けて		
	特集にあたって	鈴木 満	6
	アフリカでの生活ストレス要因と精神科医療事情 ——マダガスカル、ベナンでの生活体験と 医療情報を中心に	吉川 潔	9
	アフリカの南端から ——南アフリカ共和国における日本人の文化適応	鎌田鮎子	15
	海外勤務に伴うストレス要因 ——アメリカ、セネガル、サウジアラビア、ブラジルに 勤務して思うこと	原田信治	19
	シンガポールでの邦人診療とメンタルヘルスの課題	吉国泰代	23
	ジャカルタでの生活ストレス要因——2017年	久津沢りか	28
	大洋州島嶼国における勤務・生活ストレス要因 ——バプアニューギニアを中心に	吉田常孝	34
	かつて「東欧」と呼ばれたチェコに暮らして ——海外勤務者の生活ストレス要因について考える	嶋崎恵子	40
原著論文	森田療法と Acceptance and Commitment Therapy (ACT) の 完成に与えた文化的影響	館野 歩	47
インタビュー	リール第2大学精神科ピエール・ドゥリオン (Pierre Delion) 名誉教授 「人間の精神医学とは何か、バッキング問題を越えて」	三脇康生、ニコラ・タジャン	56
書 評	久場政博著 『シャーマニズムと現代文化の病理——精神科臨床の現場から』 大月康義 東畑開人著 『日本のありふれた心理療法 ——ローカルな日常臨床のための心理学と医療人類学』 手塚千鶴子 ディネッシュ・ブグラ、スシャム・グプタ編 『移住者と難民のメンタルヘルス ——移動する人の文化精神医学』	江口重幸	66
	■2017年度学会賞(第18回)受賞講演 不思議の場所、それは多文化間精神医学 ——臨床の位相は微候的な場所である	下地明友	67
	■2017年度奨励賞(第5回)受賞講演 メランコリー親和型と現代的な抑うつ、両者に 共通した基盤である、日本のナルシズムについて	堀 有伸	71
	■第24回多文化間精神医学会印象記	湯浅 紋	74
	■第24回多文化間精神医学会演題抄録		76
学会ニュース			84
	第24回多文化間精神医学会総会報告		
	第25回多文化間精神医学会学術総会の開催概要		
	シンポジウム企画および一般演題公募のご案内		
	■投稿規定・執筆要領		93
	■編集後記		95